

## キクの病害虫の発生状況（8月上中旬）

### 1 白さび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年よりやや少ない状況でした（図1）。多湿条件が続くと発病しやすくなるので、予防散布を心がけてください。また、本病は、キクの品種によって発病に差があるので、発病しやすい品種では、特に防除を徹底してください。

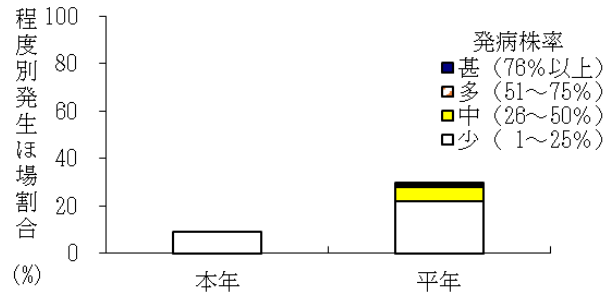


図1 白さび病の発生状況

### 2 アブラムシ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図2）。ほ場をよく観察し、発生が見られる場合は早期防除を実施してください。

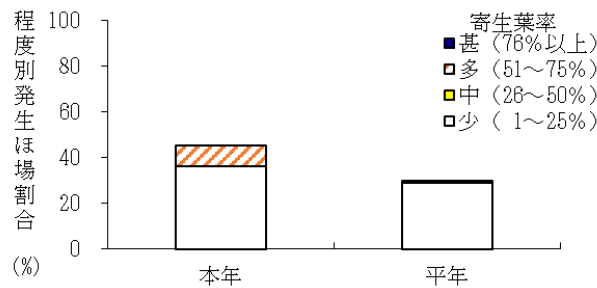


図2 アブラムシ類の発生状況

### 3 アザミウマ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図3）。ほ場周囲の雑草が発生源となることが多いので、除草を徹底してください。発生種がミカンキイロアザミウマの場合は、効果の高い薬剤が少ないので、薬剤の選択に注意してください。また、本種は、TSWV等のウイルスを媒介するので注意が必要です。

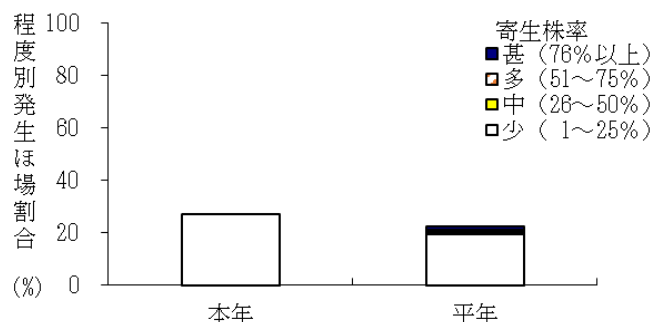


図3 アザミウマ類の発生状況

#### 4 ハダニ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図4）。多発すると防除が困難になるので、ほ場をよく確認して、低密度時から防除を徹底してください。薬剤防除を行った場合には、防除の2～3日後に葉裏を観察し、効果が十分でない場合には、異なる系統の薬剤で防除を行ってください。

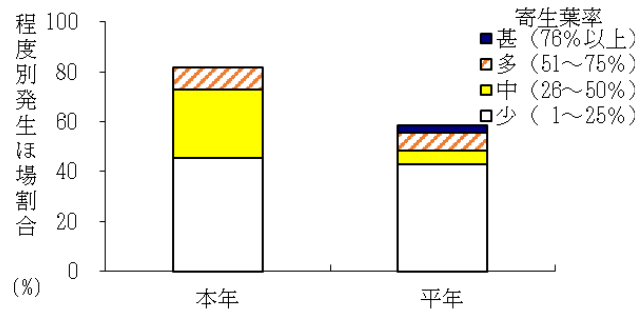


図4 ハダニ類の発生状況

#### 5 オオタバコガ

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図5）。フェロモントラップ調査では、伊達市、猪苗代町での誘殺数が平年より多い状況でした（図6、7）。幼虫が寄生する生長点付近を中心によく観察し、発生が見られた場合には防除を実施してください。

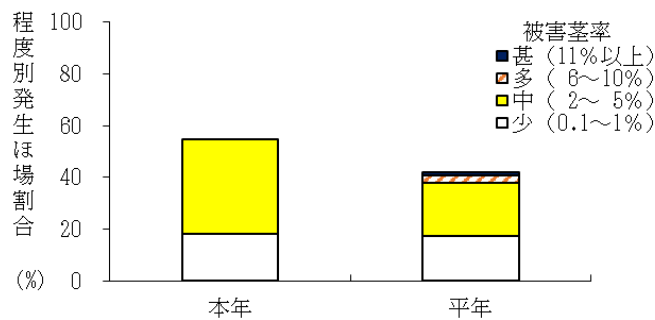


図5 キクにおけるタバコガ類の発生状況

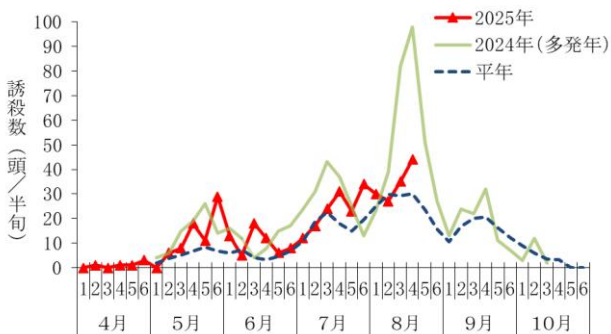


図6 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況  
(伊達市保原町:キク)  
※2025年は4月から調査開始

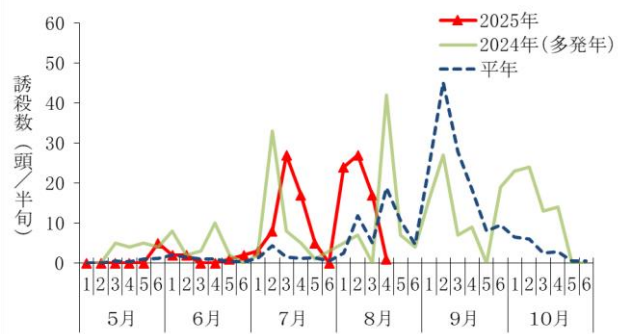


図7 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況  
(猪苗代町:トマト)

※キクの巡回調査は、下記の 11 箇所を巡回調査地点としています。

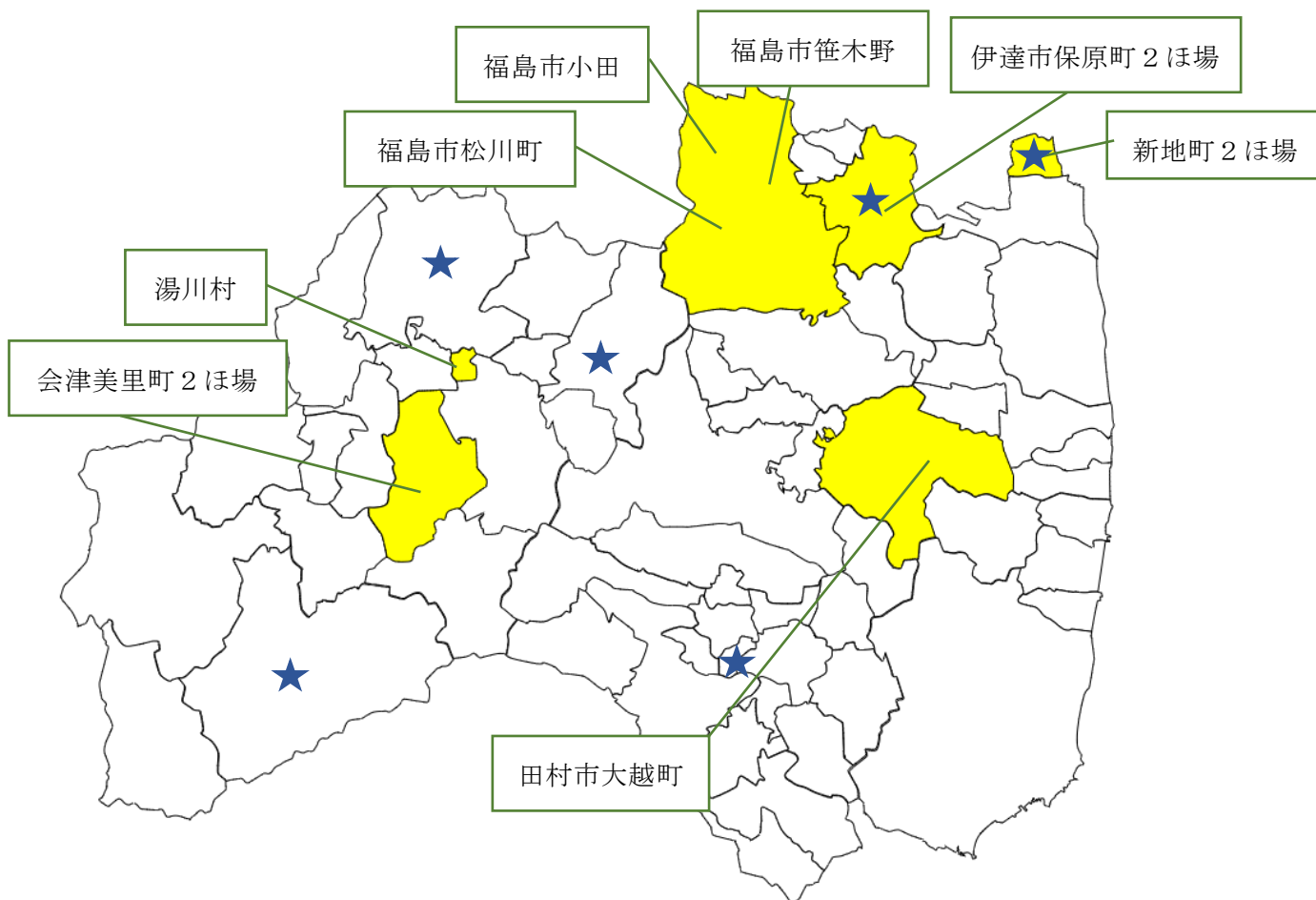


図 キクの巡回調査地点

※網掛け：キクの巡回調査地点、6市町村、11地点

※★：オオタバコガのフェロモントラップ地点、6地点

● 情報内容への質問や要望は、福島県病虫害防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp